

1. 授業の基本情報・概要

(1) 授業担当者と受講者

担当者：鴛原 進

受講者（＝指導学生）：5人

初等教育コース小学校サブコース：2人

中等教育コース社会科教育専攻：3人

(2) 授業の到達目標

社会科教育研究の成果を踏まえながら各自の課題意識に基づいて研究テーマを設定し、卒業研究を完成させる。

①多様な史料を活用して卒業研究テーマを調査・分析できる。

②論理的な思考によって卒業研究テーマの構想を説明できる。

③卒業研究テーマを主体的に深め、完成させることができる。

(3) 授業概要

先行研究を踏まえながら、各自が設定した卒業研究テーマに合わせて、調査・研究を行う。

第1回

卒業研究テーマの構想を検討

卒業研究に向けた具体的な計画と目的を検討し、卒業研究テーマの設定を行う。

第2～3回

卒業研究テーマの具体化

第4回

卒業研究のテーマに基づく先行研究の考察

第5～6回

データの収集とサブテーマ（仮）の決定

第7回

卒業研究発表①

各自で途中経過を発表し、情報交換、意見交換を行う。

第8～13回

卒業研究発表②

設定したテーマに従い、発表に向けた活動を行う。まとめ方や発表方法、パソコンの

操作等に関して、適宜担当教員等から助言をしてもらう。

第14～15回

卒業研究の総括発表および質疑応答 最終課題の説明及びまとめと振り返り

これまでの研究報告への質疑・応答を含め、各自20分程度で卒業研究の内容について発表を行う。

成績は、通年4単位の活動を総合してつけた。5人全員が単位認定された。

2. 授業評価・授業研究の内容

授業担当者が成績を提出した後（2月18日（土）～2月22日（水））に、受講者にアンケート調査（自由記述）を実施した。次のような回答があった。

・定期的に集まって進捗の状況や悩んでいることを先生やゼミのメンバーに共有することができる環境があった。

・安心して卒業研究を進めることができました。

・どのように研究を進めるか迷ったとき等、自分1人では思いつかないような様々な視点からアドバイスを頂くことができました。

3. 総括

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大のため、大変な苦勞をしながらこの授業を進めることとなった。前年度、3年生後期担当の「小学校サブコース演習」（受講者2人）に、無単位演習として中等教育コース社会科教育専攻3人も自主的に加わってくれた。このような学生の自主的・主体的・対話的な社会科学研究、社会科教育研究を引き継いでいきたい。そして伝統としたい。